

# がんセンターだより

## 遺伝子解析、次世代のがん治療をスタート

当院は、厚生労働省より、「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。

その一環として、慶應義塾大学病院と連携してがん遺伝子解析「プレジジョン検査」を2019年1月から開始しました。



### 網羅的がん遺伝子解析「プレジジョン検査」

- ◆ 「プレジジョン検査」は、全てのがん患者さんに適用されます。  
病理検査で「がん」と診断された患者さんのがん組織からDNAを抽出し、次世代シーケンサーを用いて、がんに関連した160遺伝子を調べ、新たな治療の可能性を探ることができる検査です。
- ◆ 検査の結果で推奨される治療法（薬剤）は、保険診療が適用される一般の抗がん剤や分子標的治療薬に加えて、現在臨床研究中（治験中）の薬剤や保険適応外の多種多数の薬剤が含まれます。

#### 「プレジジョン検査」は、以下の方法で実施します。

#### 検査の流れ

##### 1.相談

- かかりつけの医療機関から当院医療連携センターへFAXして相談申込みをします。
- がん遺伝子相談で「プレジジョン検査」の説明を受けます。

##### 2.検査

- 同意書に署名して「プレジジョン検査」料金の事前支払いをします。
- 指定された場所で採血を行います。

##### 3.結果

- 遺伝子解析の結果について説明を受けます。
- 遺伝子解析の結果に基づく推奨治療法について説明を受けます。

#### 予約について

#### がん遺伝子相談

|    | 月曜日                     | 火曜日           | 水曜日           | 木曜日 | 金曜日                    |
|----|-------------------------|---------------|---------------|-----|------------------------|
| 初診 | /                       | 呼吸器内科         | 産科婦人科         | /   | 乳腺外科<br>(15:00-16:00)  |
| 再診 |                         | (15:00-16:00) | (15:00-16:00) |     | 消化器外科<br>(13:00-14:00) |
| 備考 | 担当医師は疾患の種類等によって決定いたします。 |               |               |     |                        |

- ※ 対応可能な診療科は、順次拡大していく予定です。現時点でも幅広いがんの種類に対応いたしますのでご相談ください。
- ※ 受診に関するご相談は、がん相談支援センターまでお問い合わせください。

がん相談支援センター 058-230-7049

- 「プレジジョン検査」のお知らせ
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン ご報告
- 臨床試験・治験
- 長期治療を必要とする患者さんへの就労支援 他

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 岐阜を開催しました

リレー・フォー・ライフ（RFL）は、がん患者さんとそのご家族、支援者の方々が、地域社会とともにごん征圧を目指して絆を育み、勇気と希望を分かち合うチャリティーイベントです。公益財団法人日本対がん協会と各地の実行委員会が主催し、世界30カ国、国内では49カ所で開催されています。

岐阜県内での開催は今年で8回目を迎えました。

当院では、RFLの趣旨に賛同し、がんセンターが中心となって支援しています。

今年は、10月13日（土）から10月14日（日）の夜通しで2日間、「～つなげよう次世代へ～垣根を越え集い語らう」をテーマに、病院の建物に隣接するホスピタルパーク及び職員駐車場を会場として開催しました。



初日、13時から行われた開会式では、主催者側の挨拶に続き、吉田病院長及び森重がんセンター長が挨拶しました。その後、ウォーキングコースにおいて、がん患者さんやがん経験者による最初の1周であるサバイバーズラップでリレー・ウォークが開始され、翌日のラストウォークまで参加者全員で歩きました。会場は、ステージでの歌の生演奏やチームテントエリアでのイベントなどで盛り上がりました。夕刻、ウォーキングコースには、がんで亡くなった方を偲び、現在がんと闘っている方を励ますためのルミナリエが灯され、思いの込もったメッセージが暖かい光の中に浮かび上がりました。

2日目は清々しい朝の空気の中、8時から生演奏によるラジオ体操を参加者で行い、ラストウォークの後、閉会式が執り行われスケジュールを全て無事に終えることができました。

この2日間に全国から約530名の参加者が集い、約84万円の寄附金が集まりました。寄附金は、運営費を除いた全額が、日本対がん協会に寄付され、がん患者支援活動等に役立てられます。

## 臨床試験と治験に関する御案内

### 高次救命治療センター

- ◆リコンビナントトロンボモジュリンとがんの再発・転移に関する考察

### 麻酔科・疼痛治療科

- ◆乳がん手術における持続傍脊椎神経ブロック併用の有用性の検討
- ◆乳房切除+ティッシュエクspanダー挿入術後の鎮痛方法が術後痛、リハビリテーションに与える影響
- ◆肺悪性腫瘍手術および膝関節置換術後の遷延性術後痛前向き調査

当院では、より多くの患者さんが最先端の治療を受けられるよう治療の標準化を目指して、積極的に臨床試験に参加しています。シリーズ第13回目は高次救命治療センター、麻酔科・疼痛治療科の進行中臨床試験をご紹介します。

平成30年1月現在

食道癌 3件  
胃癌 2件  
子宮頸癌 1件  
T細胞性リンパ腫 1件  
大腸癌 1件  
肺癌 1件  
乳癌

平成30年1月現在

### 先端医療 臨床研究推進センター

電話：058-230-7038

電子メール：chikenj@gifu-u.ac.jp

URL：https://hosp.gifu-u.ac.jp/icc/

新しい「くすり」を創るためには「治験」を行う必要があります。治験は、患者さんの協力なくしては行うことができません。当院で実施中の治験をご紹介します。





# がん・肝炎・糖尿病など長期にわたる治療を必要とする患者さんへの就労支援

岐阜大学医学部附属病院では、長期にわたる治療を必要とする患者さんへの就労支援として相談・復職・再就職の以下の3つの取り組みを行っています。今回はその中でも「治療と仕事の両立支援（復職）」についてお伝えします。



1.がん就労相談 社会保険労務士による問題解決のサポート

2.治療と仕事の両立支援 両立支援促進員による復職に向けた調整

3.就職支援 就職支援ナビゲーターによる就職支援

## もしも どうしよう？仕事

## 治療と仕事の両立支援のススメ！

それまで健康だった人が病気にかかり治療が必要になると、以前の通りには働けなくなるケースが出てきます。その場合、治療に専念することになるか、あるいは、治療しながら働くかはケースバイケースでしょう。また、治療期間は疾病の種類などによって長さが異なりますが、働きながら治療をしたい人にとっては、それらをいかにして両立させるかは大きな問題です。「治療と仕事の両立支援」とは、治療を続けながら働き続けることです。治療と仕事の両立支援は患者さんが会社に申し出ることから始まります。働き続けたいあなたが安心して相談・申し出ができるよう両立支援促進員と一緒に考えます。まずはご相談を。

**対象となる方** がんや肝炎など長期治療を必要とし復職を希望の方、また、そのご家族

## 治療と仕事の両立支援はどんなことをするの？

患者さんが、ご自身の業務内容や勤務情報を書面で主治医へ提出し、主治医は患者さんが働く続けるうえで望ましい配慮を記した「意見書」を作成します。この「意見書」を患者さんご自身が事業場（会社）へ提出すると、事業場（会社）は、主治医や産業医、患者さんの意見を踏まえて今後の措置を決定し、患者さんの治療に配慮するための休暇制度や勤務制度など実情に応じて検討・整備（両立支援プランを作成（任意））します。

## 両立支援促進員はどんなことをするの？

両立支援促進員は産業保健総合支援センターに所属し、個別の患者（労働者）さんについての就業上の措置や、治療に対する配慮等の健康管理について、職場と患者（労働者）さんとの間の調整支援を行います。また、事業者等に対して、治療と職業の両立支援についての知識の普及活動も実施しています。

## 就職支援との違いはなんですか？

就職支援の対象者は、  
離職をされて就職を希望の方になります。

## ほかにも相談先はありますか？

相談先は当院以外にも、岐阜労働局、岐阜産業保健総合支援センター、病院等各所にあり、相談内容によって異なってきます。開催日等はがんセンターホームページのお知らせ欄に随時掲載しています。

<https://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/> お問合せ先 岐阜大学医学部附属病院 がん相談支援センター



# がん相談支援センター

あなたやご家族の心を支えます

当院では、医療連携センターに「がん相談支援センター」を設置しがん相談を行っています。  
がんのことやがんの治療について知りたい、今後の療養生活のことが心配などの質問や相談を看護師やソーシャルワーカーがお受けしています。がん相談支援センターは、患者さんやご家族のほか地域の方はどなたでもご利用いただけます。

**※相談はご予約を  
お取りください**

相談日：月～金曜日(祝祭日を除く)  
10:00～12:00(30分ごと)  
お問い合わせ：058-230-7049  
予約受付時間：9:00～17:00



## 第3回 がんセンター がん相談支援センター公開講座

平成30年12月19日



管理栄養士による公開講座

「栄養補助食品ってどんな味？」  
「身体を温めて免疫力を高めよう！」




参加者の方から、胃の手術後で不安な気持ちが和らいだ等の感想をいただき、好評の会として終えることができました。



薬膳スープと豆乳プリンを試食を行いました

2019年  
予定

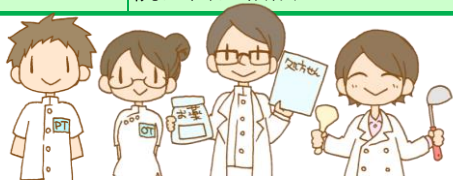
がんセンター 

公開講座



|      |             |      |
|------|-------------|------|
| 緩和部門 | キャンサーフィットネス | 3回/年 |
|      | アピアランスケア    | 1回/年 |

|      |        |      |
|------|--------|------|
| 相談部門 | なんでも相談 | 2回/年 |
|      | 院内出張相談 | 2回/年 |



平成31年1月31日

## 患者ケア検討会

開催しました

「難治性疼痛への対応とその評価  
—虫垂がん事例から学ぶ—  
(シティ・タワー診療所と大学病院連携)」



院外12名 院内25名の参加がありました。

お問い合わせ  
岐阜県岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学医学部附属病院 医療支援課  
(がんセンター事務)  
TEL 058-230-7342 FAX 058-230-7037

URL <https://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/index.html>  
岐阜大学医学部附属病院は都道府県がん診療連携拠点病院です。

がんセンターだよりへのご意見  
ご感想をお待ちしております

